

献上桃決定通知交付式



▲(左から)佐藤廣武宮農経済委員長、高橋町長、数又代表理事組合長、深谷元雄役員代表、宍戸所長

今年も、町産桃「あかつき」が、皇室献上品として県から指定を受けました。皇室への献上は、平成6年から始まり、節目の30回目となった昨年に引き続き、31回目の指定となります。献上桃決定通知交付式が6月7日、役場で行われ、高橋宣博町長立ち合いのもと、県

生産者のためまぬ努力が実る
町産桃31年連続で献上桃に指定

北農林事務所の宍戸潤一所長からJAふくしま未来の数又清市代表理事組合長へ、決定通知が交付されました。数又代表理事組合長は「震災以降もずっと努力し続けた生産者の励みになる。今後も、献上桃の名に恥じない桃の生産に尽力する」と力強く話しました。



▲さらなる連携強化を図るため、8つの連携事項を定めた協定書を手にする高橋町長(左)と数又代表理事組合長(右)

町とふくしま未来農業協同組合による包括連携協定の締結式が6月7日、役場で行われました。町と同組合は、従来より農業振興をはじめ、さまざまな分野で連携し、地域振興に取り組んできました。地域が抱える課題が多様化する中で、より一層の連携

地域課題解決に向けて連携強化
JAふくしま未来と協定締結

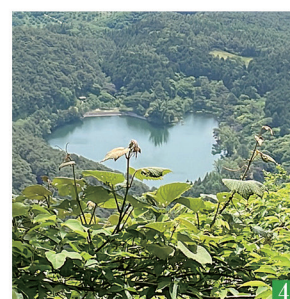
強化を図り、課題解決に向けた活力ある事業を推進するために本協定を締結。数又代表理事組合長は「地域と互いに協力し合いながら、地域発展に尽力する」と話し、高橋町長は「これまでの連携をより一層強化し、幅広い課題に取り組む」と気持ち新たにしました。

広告

広告



1_参加者には記念バッジやオリジナルトートバッグなどを配布 2_安全祈願祭 3_キャンプ場登山口より山頂を目指し歩く参加者 4_山頂付近から見えるハートレイク半田沼



新緑の半田山
町のシンボル半田山(863m)の山開きが、5月26日に開かれました。絶好の登山日和の中、約450人がみずみずしい新緑の中を、山頂目指して歩きました。当日は、半田銀山太鼓銀栗保存会の祇園ばやしの演奏で参加者を迎え、益子神社による安全祈願祭を行い、今年一年の登山者らの安全を祈りました。参加者は、木漏れ日が差す登山道を一步一步踏みしめながら歩き、半田沼がハート型に見えるビューポイントで写真撮影をするなど、思い思いに半田山登山を楽しみました。



5・6_鳥のさえずりを聞きながら、山頂を目指す参加者 7・8_半田山管理センター前では、地元物産販売や木工体験が行われ、参加者を楽しませました 9_約1時間かけてたどり着いた山頂で記念撮影 10_専用のロープを使い、足の力で木登りをする「ツリーイング」。五感が刺激され、特別な景色に出会える体験に、子どもから大人まで楽しめました

新緑を楽しむ
半田山山開き2024